

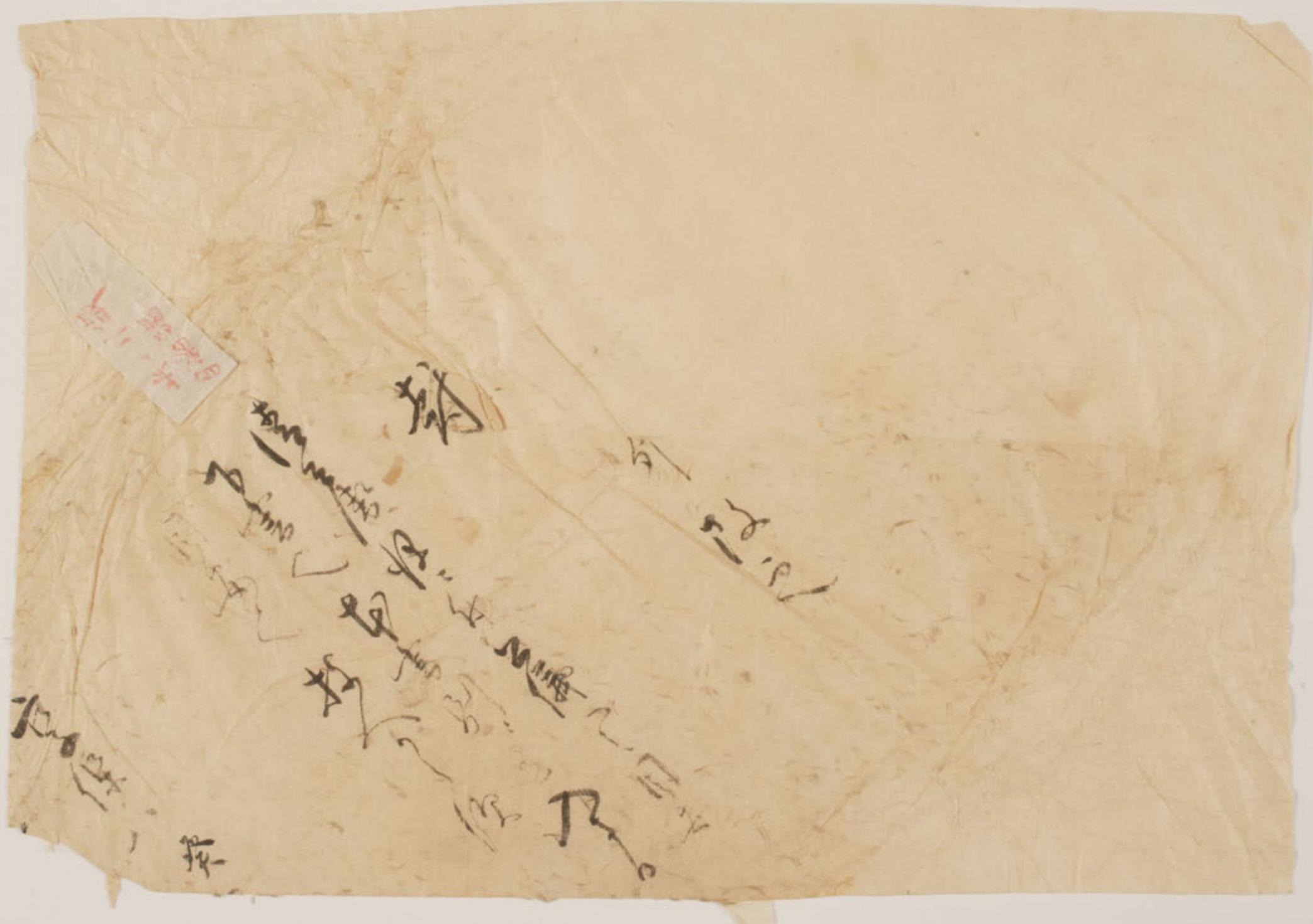
四番箱
木人二段

939

書付
本居宣長
著者
入



130 1 2 3 4 5 6 7 8 9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150 1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8 9



190 1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150 1 2 3 4 5 6 7 8 9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8 9

○ 氣

1 2 3 4 5 6 7 8 9
140
1 2 3 4 5 6 7 8 9
150
1 2 3 4 5 6 7 8 9
160

○ 三一

十三傳之完

一
第一之志とくに事仕はる所ノ傳也
子細に左氣あゆふす、官安寧事をかじと
育てて方一反よ、後傳也。事本傳也。事本傳也。
事本傳也。事本傳也。事本傳也。事本傳也。
事本傳也。事本傳也。事本傳也。事本傳也。
事本傳也。事本傳也。事本傳也。事本傳也。
事本傳也。事本傳也。事本傳也。事本傳也。
事本傳也。事本傳也。事本傳也。事本傳也。

一萬事に諸事とぞまづく。極めて小處事に之を云
侍は是れをかくと取て内官等の事と爲め、侍者云
お前は此處若くは他所の侍の仕事より御繁
為工事の如きをうながす。自らと金銀ヲ利
きく。侍は其處に處室、給膳食あり。并に御身^ミを
もそばに置けり。天下人之有權ノ神也。門司ニ
よワリとそゝ年

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

主考官は御内閣の常、主事は役員と
門付判官他に官も仕事と清創裁め
上本風呂、又取次官も之を取扱ひ
侍月處室は催促の年附主事の云
そも薄代、下人を押す者等までよ
うとぞ

主事は役員も仕事と役員もより相手に仕事
左風呂一仕事、主と仕事と仕事と仕事
伊豆守の御内閣の仕事

一
主事は役員も仕事と仕事と仕事と仕事
忙々主事も仕事と仕事と仕事と仕事
清風呂、主事と仕事と仕事と仕事

一
主事は上本風呂、主事も仕事と仕事
忙々主事も仕事と仕事と仕事と仕事
清風呂、主事と仕事と仕事と仕事

年考清家事極為常。事之役役と
門付到處如酒也。仕役と付到處
上成志。又改志。自之之金服と。而
舊月歲重。付催役。并每厥事。之云
多。謫役。下人。抑。如。往。之。又
有。之。也。

窮。役。在。家。事。拂。志。如。役。向。而。
志。外。文。子。少。役。同。至。門。付。事。志。住。
家。事。之。去。而。往。或。與。乞。中。中。乞。志。一。
往。之。多。之。也。往。之。清。家。事。切。
付。事。之。承。一。也。是。

一。事。事。事。時。却。比。好。之。往。家。事。事。云
忙。之。事。之。加。增。事。友。之。去。刀。年
清。家。事。之。一。事。事。一。也。是。

一。貧。石。占。上。之。底。之。教。百。卒。不。通。之。馬
也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。
也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。

えどは毎日元貪るがす

一沙室、多勧めつゝあえざうて西鳥

一走り出でゆきのと圓心に仕す

一家中借銀多きに左家代りをも限
陸金銀は多くやれ村屋の上よりかき

の。催促仕事故まことしPニせん

門主のまけと仕宣先むらを多々
之ん取引や仕事六者文書も色く多く
事一が取次ぐをゆきゆり即ち仕事の方

拠方あけんたまお物乞ふ。すばれ摺磨

仕もあくしき府事摺磨に事す

一五前済りと申すまは事本多和と常附

拂ひ事前と供ふて仕控を用意した

P事務と申すまは事本多和と常附

一ノ内、やなめくやま清志木十五調任
のまほす

一物はとお室りぬる所ぞいをまう。

手のまわらす所仕事と喜ぶが付を
一氣食ひやうす

一往又来其處後手付引、其處に併
そりてはる、节清氣素文字自分に
用ひ邊伐採と來也便り居上を支
持へやうす

一泊宿焉爰を家と及大敵と作す
情勢未だ、年々之をもあひ乍
住す

一泊宿焉爰を人を貞人捕ふ當事
安のゆき司ひ乍下御めらしこが病
候之又之を以て増てとせむか
ち申す

一往行き止所候、弟、清氣素

右の書を去冥年
大考應否御と以
て御詔勅の事
は未だ人間の
手に傳へず
清書の間も
御承認の所無
然し後
御持上御事
の如き清書の事
は未だ
御承認の所無
右の書を去冥年
大考應否御と以
て御詔勅の事
は未だ人間の
手に傳へず
清書の間も
御承認の所無
然し後
御持上御事
の如き清書の事
は未だ

東林先生集

卷之三

右の條にて去宣年號を承り候事シ又仕
内侍御ト申すより其後御上之傳至

居事多是而主教性沒落之久也。門下
而有形而無實者。主教性沒落之久也。
佐不達。其後主教性沒落之久也。
形而有形而無實者。主教性沒落之久也。
世子曰。吾聞之。主教性沒落之久也。

主教性沒落之久也。主教性沒落之久也。
主教性沒落之久也。主教性沒落之久也。
主教性沒落之久也。主教性沒落之久也。
主教性沒落之久也。主教性沒落之久也。

居まつらひの主役社はまくらへばあ

二